

第 91 回 (11/18) 岩手県総合計画審議会においていただいた主な御意見等について

No.	項目	御意見等の内容	回 答
1	戦略の構成について	<ul style="list-style-type: none"> 戦略の構成について、観光産業が商工業の中に入っているが、観光産業は多分野にわたるため、独立した戦略とし、商工業と並ぶ位置づけでもいいのか。 	<p>御意見を踏まえ、 「1-1 商工業・観光産業振興戦略」を</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1 商工業振興戦略と 1-2 観光産業振興戦略に分割しました。
2	1-1 商工業振興戦略	<ul style="list-style-type: none"> 高卒者の県内就職率が震災前から上昇傾向と県は言うが、依然として毎年千人程度県外へ転出している現状を踏まえてほしい。 	<p>県内では、近年、ものづくり産業の集積に伴い、多様な就業の場が創出されています。高卒者の就職に伴う県外流出については、県内就業に関する情報が十分に浸透していないことが要因の一つにあると考えており、引き続き、「いわてで働こう推進協議会」を中心として、生徒・保護者・教員等に対する情報発信や県内企業への就職に向けた「岩手ファースト」の意識醸成等の施策を推進していきます。</p>
3	1-1 商工業振興戦略	<ul style="list-style-type: none"> 県内の中小企業はどこも人手不足である。目標について、過去と比べるのではなく、全国平均や東北6県と比べて設定してほしい。 	<p>人口減少に伴う全国的な人手不足の中、本県においては産業集積等に伴う急激な新規雇用の増加があり、県全体の各産業における人材の確保が急務となっています。想定される人材需要に対応するための方策として、まずは若者の県内就業が重要であるとの考えに基づき、高校生の県内就職率を高めるため、目標を「東北トップレベル」の84.5%に設定したところです。</p> <p><高卒者の県内就職割合 (H31.3卒) > 山形 79.2、宮城 79.1、福島 74.3、岩手 69.0-全国 34位</p>
4	1-1 商工業振興戦略	<ul style="list-style-type: none"> 最低賃金は全国で統一すべきであるが、同様の状況である北東北3県で連携して訴えてもらいたい。 	<p>県では、各企業が生産性を高め、収益力を向上されることで地域の賃金水準が上がっていくことが重要と考えています。賃金水準の向上に向け、中小企業が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組を促進していくこととしており、商工指導団体や産業支援機関と連携しながら、中小企業者の収益力向上の支援を推進していきます。</p>

No.	項目	御意見等の内容	回答
5	1-1 商工業振興戦略	<ul style="list-style-type: none"> 県内 99.8%が中小企業でどこも人手不足で苦勞しているため、企業の生産性を上げるための支援をお願いしたい。 	<p>県では、県内企業における働き方改革と生産性向上を両輪とした取組を推進していくため、参加型の意識啓発運動として「いわて働き方改革推進運動」を実施し、魅力ある職場づくりを進めています。また、企業の生産性や付加価値の向上に向けて、生産現場におけるカイゼン、3S、カラクリ等の取組を支援するとともに、第4次産業革命技術への県内企業の対応を促進するため試験研究機関等における各種支援機能を強化することとしています。今後も、市町村や関係機関と連携し、企業の生産性向上の支援を推進していきます。</p>
6	1-2 観光産業振興戦略	<ul style="list-style-type: none"> 観光分野を売り込むときに、自然を前面に出すと北海道には勝てないので、文化や伝統を売りにすべき。 	<p>本県の観光産業の振興においては、自然・文化・伝統など、様々な地域資源を活用した取組が重要であると考えています。こうした考えの下、「観光産業振興戦略」及び「いわてまるごと交流促進戦略」においては、本県の有する多様な地域資源を活用した観光コンテンツの磨き上げや売込み等を盛り込んでおり、これらの施策を推進していきます。</p>
7	1-2 観光産業振興戦略	<ul style="list-style-type: none"> 観光客は県単位で観光する訳ではないので、県を越えた広域連携が必要。こういったエリアの視点も必要ではないか。 	<p>観光産業の振興においては、県を越えた広域連携が重要であると考えており、これまでも東北各県や東北観光推進機構等と連携した観光誘客の取組を進めてきました。こうした取組については、「観光産業振興戦略」及び「いわてまるごと交流促進戦略」に施策を盛り込んでおり、今後も、東北デステーションキャンペーンを通じた東北観光のブランド化の推進や、将来を見据えた東北への誘客のための仕組みづくりなど、県を越えた広域連携の取組を一層推進していきます。</p>
8	1-4 ふるさと移住・定住促進戦略	<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住の受入態勢の施策は盛り込まれているので、東京にいる方の在京コミュニティを作り、県がサポートできたらいいと思う。サポートの方法についても、補助金ではないやり方を考えていけばいいと思う。 	<p>現在、岩手県に縁のある若者等が中心となって、様々な在京コミュニティが形成され、様々な活動をしていると把握しており、岩手ファン・関係人口の拡大を図るため、こうした在京コミュニティと連携した交流イベント等の実施は、重要な取組であると考えています。御意見をいただいた「補助金」という手法にとらわれない、連携・サポートの在り方については、今後の取組の推進に当たっての参考とさせていただきます。</p>

No.	項目	御意見等の内容	回答
9	1-4 ふるさと移住・定住促進戦略	<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住について、ホームページのアクセス数がK P Iになっているが、日当たりになると大した数ではなく、K P Iとしてどうなのか。 	<p>御意見を踏まえ、「県外からの移住・定住者数」をK P Iに追加しました。</p> <p>なお、ホームページのアクセス数については、本県への移住を検討するに当たり、インターネットによる情報収集が想定され、移住者の拡大に向けて、ホームページの果たす役割は大きいものと考えています。今後、ホームページにおける情報発信が一層重要となり、掲載内容の充実などに取り組む必要があることから、その成果を図る観点からも、ホームページアクセス数をK P Iとして設定したものです。</p>
10	2-1 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> 自然減に関して、結婚している女性は平均 1.9 人程度子どもを持っている。やはり問題は未婚の増加である。結婚サポートセンターについて県と市町村で連携していきたい。 	<p>結婚支援については、市町村や関係団体と連携して、“いきいき岩手” 結婚サポートセンターの設置・運営や、「いわて結婚応援の店」などの取組を進めているところであり、今後も、結婚をしたいと願う県民の希望をかなえるための施策を推進していきます。</p>
11	2-1 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に産科医が足りていないので、自治医大に産科医の枠を 1 人作って毎年送り込むことを提案したい。 	<p>自治医科大学の設立目的である「へき地等における医療の確保・向上」との整合性や、産科医枠の学生に対する医学教育課程のあり方など、同大学への産科医枠の設置には検討すべき様々な課題があると考えられることから、県の奨学金による医師養成の取組の中で、産科医等を確保するための施策を推進していきます。</p>
12	2-2 子育て支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の医療費助成の現物給付化についてやるのは結構であるが、補助金そのものの負担が市町村が大きく、県の負担は少ない状況なので、負担割合について検討してほしい。 	<p>各市町村の医療費助成については、それぞれの政策的判断のもとに、単独事業として拡充が進められてきたものであり、県が負担割合を増やしたとしてもサービス向上に直接つながるものではないことや、子どもの医療費助成の対象範囲を更に拡充する場合、多額の財源を確保する必要があるため、本県では、県立病院等事業会計負担金が多額になっているという事情もあることから、その実施については、県の医療・福祉政策全体の中で、総合的に検討する必要があると考えています。</p>

No.	項目	御意見等の内容	回答
13	2-2 子育て支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の施策は、女性中心の施策に見えるが、男女でシェアできるような施策があればいい。 	<p>県では、市町村と連携し、保育所等の利用定員の拡大や、放課後児童クラブをはじめとする地域子ども・子育て支援事業を支援することとしており、これらの取組により、子育て家庭における仕事と生活を両立できる環境づくりを推進していきます。</p>
14	「岩手で暮らす」	<ul style="list-style-type: none"> Society5.0については、ものづくり産業や農林水産産業を主な対象としているように見えるが、教育や医療の分野にも活用してほしい。 	<p>「いわて県民計画（2019～2028）」の「学びの改革プロジェクト」の中で、AIをはじめとする第4次産業革命技術等を活用した教育を推進するため、学校におけるICT環境の整備を進めることとしており、第2期岩手県ふるさと総合振興戦略の中でも、ICTを活用した授業改善等に取り組むこととしています。</p> <p>医療分野でも Society5.0 の実現に向けた技術を活用し、小児医療遠隔支援システムや周産期医療情報ネットワークなどの情報通信技術を活用した取組を推進することで、質の高い医療が受けられる体制の整備を図りつつ、ビッグデータを活用した県民の健康づくり支援等の施策も推進していきます。</p>
15	3-1 魅力あるふるさとづくり戦略	<ul style="list-style-type: none"> 県内のwi-fi環境の整備が必要ではないか。 	<p>地域のニーズを踏まえ、県民の生活や産業経済活動に欠かせない情報通信基盤の整備を促進し、魅力あるまちづくりに取り組みます。御意見については、今後の取組の推進に当たっての参考とさせていただきます。</p>
16	3-4 保健・医療・福祉充実戦略	<ul style="list-style-type: none"> 介護について、現場の努力により、全体として離職率は下がってきているが、夜勤ができる職員は減っている。よって、日中が主となる在宅支援は多いが、夜勤のある入所系は全然足りていない。しかし、戦略の内容は、これらの区別がなされていなく、実際には法人頼みとなっていることを知ってほしい。 	<p>介護人材の確保については、多様な人材の確保に向けた取組を進めているところであり、県としては、介護人材の確保・定着を図る上で「労働環境の整備・処遇改善」が重要と考えていることから、御意見については、今後の取組の推進に当たっての参考とさせていただきます。</p>
17	3-4 保健・医療・福祉充実戦略	<ul style="list-style-type: none"> 介護系の専門学校は3箇所しかない。10年前は高等教育機関にもあったが今はない。人材を育て続けるための方策を盛り込んでほしい。 	<p>介護人材の育成については、県として事業者等とも一体となって総合的に取り組んでいるところであり、取組項目に「福祉人材の育成・確保」を盛り込み、引き続き介護福祉士など中核となる介護人材の育成や元気な高齢者や外国人の方々など多様な人材の確保を図る施策を推進していきます。</p>

No.	項目	御意見等の内容	回答
18	3-5 ふるさとの未来を担う人づくり戦略	<ul style="list-style-type: none"> 葛巻町では、山村留学を行っており、県外から高校生が来ているので参考したらいいのではないか。 	<p>葛巻町の取組をはじめ、市町村等と様々な形で意見交換を行いながら、引き続き、学校の魅力づくりと質の確保について、地域と連携しながら推進していきます。</p>
19	3-5 ふるさとの未来を担う人づくり戦略	<ul style="list-style-type: none"> 変化を好まない人が多く地元に残っていて、親も外の世界を知らない。知らない親に育てられた子どもは知る由もないので、学校教育の中に、国際視点を盛り込むべき。 	<p>学校教育全体、特に社会科等各教科や総合的な学習の時間等を通して、国際社会とのつながりに関する教育を行っているところです。また、小学校を含め、外国語（英語）教育の充実を目指した取組を行っております。</p> <p>その他、海外派遣や国際交流、イングリッシュキャンプなど、国際理解や国際感覚の意欲喚起をしており、今後も様々な機会を捉え広く周知していきます。</p>
20	3-5 ふるさとの未来を担う人づくり戦略	<ul style="list-style-type: none"> 岩手のならではの教育と言えば「防災」で、伝承館などをもっと活用した方がいい。 	<p>東日本大震災津波伝承館については、児童生徒が「いわての復興教育」の内容である「自然災害発生メカニズム」や「自然災害の歴史」、「復旧・復興のあゆみ」等を学習する上で、また、児童生徒に震災の経験や教訓を継承していく上で、大変有意義な施設であることから、伝承館の積極的な活用について、各学校に働きかけていきます。</p>
21	「岩手とつながる」	<ul style="list-style-type: none"> 岩手とつながるについて、文化を押し込んだ方がいい。岩手を出てもどこかで故郷が好きな人が大勢いる。東京に出向いて情報発信するのもいいと思う。 	<p>関係人口の創出・拡大にあたっては、文化・スポーツ・複業をはじめ、様々な切り口で岩手と多様な形で継続的に関わる人々を増やす取組を進めていきます。御意見については、今後の取組の推進に当たっての参考とさせていただきます。</p>
22	「岩手とつながる」	<ul style="list-style-type: none"> 岩手とつながるに関して、ラグビーワールドカップの時に地元から東京に出ていった方も結構試合を見に来ていた。県で積極的に試合の誘致をして交流人口や関係人口を増やしていけばいい。 	<p>ラグビーワールドカップ以降の試合開催は、交流人口の拡大のため重要な取組であることから、「いわてまるごと交流促進戦略」の「スポーツを生かした人的・経済的交流の推進」の中で、「ラグビーワールドカップ2019TMの会場である釜石鵜住居復興スタジアムにおいて、これまでの国内外とのつながりや三陸防災復興プロジェクト2019などのレガシーを継承し、スポーツイベントを展開していきます。」を盛り込んでおり、試合の誘致を含むスタジアムの活用について対応していきます。</p>

No.	項目	御意見等の内容	回答
23	4-1 関係人口創出・拡大戦略	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口について、国が急に言い出したのは、東京一極集中の是正が難しい状況であるからではないか。 	<p>国では、これまでの移住・定着の促進の施策に加え、地方移住の裾野拡大等に向けて、関係人口の創出・拡大に取り組むこととしており、県としても岩手への人の流れを創出し強化していくため、関係人口や交流人口の創出・拡大の施策を推進していきます。</p>
24	4-1 関係人口創出・拡大戦略	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口については、若年層をターゲットにしたらメリハリがつくのではないか。岩手は、アニメの聖地になっていたり、ポケモンGOとか、前身のインGRESとかゲームを活用するなど、斬新なアイデアでもっとチャレンジしてほしい。 	<p>関係人口の創出・拡大にあたっては、文化・スポーツ・複業をはじめ、様々な切り口で岩手と多様な形で継続的に関わる人々を増やす取組を進めていきます。御意見については、今後の取組の推進に当たっての参考とさせていただきます。</p>
25	4-1 関係人口創出・拡大戦略	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口拡大戦略について、移住相談件数をKPIにしているが、マッチング数が適切ではないか。 	<p>「関係人口」は定量的に把握できるものではないため、「関係人口の創出・拡大」を全体的に推進する観点から、岩手県内における取組の推進を下支えすることが最も効果的と考えられるため、「関係人口創出・拡大に向けた施策数」をKPIとして設定しました。</p>
26	その他	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントに関連して、高校生の意見を聴いてほしい。 	<p>12月に開催した大槌高等学校の「探究発表会」において、人口減少対策を含めた将来の大槌町にこめる想いを発表していただくなど、今後も様々な機会を捉え、高校生も含めた若者の意見聴取に努めていきます。</p>